

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成30年2月14日
【四半期会計期間】	第89期第3四半期（自平成29年10月1日至平成29年12月31日）
【会社名】	はごろもフーズ株式会社
【英訳名】	HAGOROMO FOODS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 池田 憲一
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354-5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354-5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） はごろもフーズ株式会社東京支店 （東京都中央区八丁堀一丁目5番2号 はごろもビル） はごろもフーズ株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市中区新栄町二丁目9番地 スカイオアシス栄） はごろもフーズ株式会社大阪支店 （大阪府大阪市都島区片町二丁目2番48号 J E I 京橋ビル）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第88期 第3四半期 連結累計期間	第89期 第3四半期 連結累計期間	第88期
会計期間	自平成28年4月1日 至平成28年12月31日	自平成29年4月1日 至平成29年12月31日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売上高 (千円)	61,348,022	61,909,758	79,298,976
経常利益 (千円)	3,188,483	2,015,725	2,992,943
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	2,093,549	2,095,328	1,758,477
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,964,372	2,975,887	2,604,314
純資産額 (千円)	25,330,257	27,576,732	24,969,116
総資産額 (千円)	46,652,718	49,474,926	46,824,181
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	111.21	111.32	93.41
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	54.3	55.7	53.3

回次	第88期 第3四半期 連結会計期間	第89期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成28年10月1日 至平成28年12月31日	自平成29年10月1日 至平成29年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	29.76	38.05

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高は消費税等は含みません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当社は100%子会社である株式会社マルアイを平成29年4月1日付で吸収合併しました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

平成29年3月期の有価証券報告書（平成29年6月29日提出）に記載の内容から重要な変更がないため、記載を省略しています。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における当社グループは、原材料価格が上昇する中で、製品の価格改定等を進めました。また、テレビCM「シーチキン食堂」を軸とした広告宣伝活動や販売促進活動を展開し、ブランド力の強化と消費者の需要喚起に努めました。

簡便さや個食ニーズに対応した「シャキッとコーン」や総菜のパウチ製品、少子高齢化社会で拡大する中食需要に対応した業務用食品が好調に推移したこと等により、売上高は前年同期比0.9%増の619億9百万円となりました。

利益面では、主原料であるきはだ鮭やかつお、米の価格上昇に加え、価格競争の激化にともない販売奨励金が増加し、営業利益は18億10百万円（前年同期比39.7%減）、経常利益は20億15百万円（同36.8%減）となりました。

平成29年4月1日に当社の100%子会社である株式会社マルアイを吸収合併し、繰越欠損金を引き継いだこと等により税金費用が減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億95百万円（同0.1%増）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、%）

製品群		前年同期		当第3四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	26,625,085	43.4	26,720,101	43.2	95,016	0.4
		デザート	3,978,358	6.5	4,012,981	6.5	34,623	0.9
		パスタ&ソース	5,814,565	9.5	5,830,783	9.4	16,218	0.3
		総菜	5,333,159	8.7	5,818,840	9.4	485,680	9.1
		削りぶし・のり・ふりかけ類	4,369,572	7.1	4,204,528	6.8	165,043	3.8
		ギフト・その他食品	3,084,131	5.0	2,971,429	4.8	112,702	3.7
		計	49,204,872	80.2	49,558,665	80.1	353,792	0.7
	業務用食品	10,364,179	16.9	10,677,231	17.2	313,052	3.0	
	ペットフード・バイオ他	1,418,902	2.3	1,349,388	2.2	69,513	4.9	
	計	60,987,953	99.4	61,585,285	99.5	597,331	1.0	
その他	360,068	0.6	324,473	0.5	35,595	9.9		
合計	61,348,022	100.0	61,909,758	100.0	561,736	0.9		

（注）1．上記金額は消費税等を含みません。

2．前期まで「総菜」に計上していた一部製品を、今期より「ツナ」に変更しました。前年同期実績についても、当該分843,157千円を「総菜」から「ツナ」に組み替えています。

「ツナ」では、製品の生産体制の整備が進んだことに加え、かつおの高騰を受け主力製品であるシーチキンマイルドを価格改定したこと等により、売上高は前年同期比0.4%増加しました。

「デザート」では、「朝からフルーツ」シリーズやフルーツパウチなど個食ニーズに対応した製品が堅調で、売上高は同0.9%増加しました。

「パスタ&ソース」では、輸入パスタ製品の増加による低価格化が進む中、新たに投入した低糖質パスタ「ポポロスバCarbOFF（カーボフ）」が好調で、売上高は同0.3%増加しました。

「総菜」では、主力の「シャキッとコーン」が大幅に伸ばしたうえに、個食ニーズにマッチしたパウチシリーズが好調で、売上高は同9.1%増加しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、かつおやのり原料の高騰を受け価格改定したものの、販売機会の減少により、売上高は同3.8%減少しました。

「ギフト・その他食品」では、包装米飯「パパッとライス」が好調でしたが、ギフトが低調で、売上高は同3.7%減少しました。

「業務用食品」では、原料事情の悪化にともないフルーツ類の販売が低調でしたが、コンビニエンスストア向けのツナやコーン等が好調で、売上高は同3.0%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、食品添加物を加えていないキャットフード「無一物（むいちもつ）」シリーズが好調でしたが、フィッシュミール等が低調で、売上高は同4.9%減少しました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、112,342千円です。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の新設計画は次のとおりです。

会社名 事業所名	所在地	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手および完了予定年月		完成後 の増加 能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
当社 新清水 プラント	静岡市 清水区	食品事業	缶詰生産 設備	4,800	-	自己資金 および 借入金	平成31年 2月	平成32年 5月	日産約 290千缶

(注) 上記金額は消費税等を含みません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	82,600,000
計	82,600,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成30年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,650,731	20,650,731	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	20,650,731	20,650,731		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年10月1日～ 平成29年12月31日	-	20,650,731	-	1,441,669	-	942,292

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成29年9月30日）にもとづく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成29年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,828,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,742,000	18,742	-
単元未満株式	普通株式 80,731	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	20,650,731	-	-
総株主の議決権	-	18,742	-

【自己株式等】

平成29年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) はごろもフーズ株式会社	静岡県清水区島崎町151	1,828,000	-	1,828,000	8.85
計	-	1,828,000	-	1,828,000	8.85

(注)第3四半期会計期間末日現在の自己株式数は1,828,518株です。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。
なお、役職の異動は、次のとおりです。

役職の異動

新役職および職名	旧役職および職名	氏名	異動年月日
常務取締役 経営企画室担当	常務取締役 事業本部長補佐 (支店担当)	川隅 義之	平成29年9月20日
常務取締役 事業本部長補佐兼 シーチキン・デザート・総菜ユニット長	常務取締役 事業本部長補佐 (ユニット担当)兼 シーチキン・ デザート・総菜ユニット長	松井 敬	平成29年9月20日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）にもとづいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第3四半期連結会計期間（平成29年10月1日から平成29年12月31日まで）および第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人双研社による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,058,837	869,255
受取手形及び売掛金	16,607,422	18,226,909
商品及び製品	6,665,913	6,779,693
仕掛品	56,543	107,108
原材料及び貯蔵品	3,303,531	2,785,817
その他	2,405,793	2,891,064
貸倒引当金	204	960
流動資産合計	30,097,837	31,658,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,777,599	3,594,973
土地	3,505,898	3,505,898
その他(純額)	1,841,033	1,875,864
有形固定資産合計	9,124,531	8,976,736
無形固定資産		
438,347	407,730	
投資その他の資産		
投資有価証券	6,593,565	7,868,329
その他	573,048	566,961
貸倒引当金	3,149	3,719
投資その他の資産合計	7,163,464	8,431,571
固定資産合計	16,726,343	17,816,038
資産合計	46,824,181	49,474,926
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,636,502	12,925,297
1年内返済予定の長期借入金	500,000	1,000,000
未払金	4,849,132	2,682,909
未払法人税等	393,687	14,942
売上割戻引当金	30,813	292,023
販売促進引当金	4,690	1,505,652
賞与引当金	366,341	176,215
役員賞与引当金	1,200	-
資産除去債務	17,000	-
その他	766,915	978,724
流動負債合計	19,566,283	19,575,765
固定負債		
長期借入金	500,000	-
役員退職慰労引当金	659,910	684,777
退職給付に係る負債	50,982	163,714
その他	1,077,887	1,473,936
固定負債合計	2,288,780	2,322,427
負債合計	21,855,064	21,898,193

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,429	942,429
利益剰余金	22,688,258	24,416,545
自己株式	2,160,423	2,161,652
株主資本合計	22,911,934	24,638,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,443,679	3,364,934
繰延ヘッジ損益	99,778	25,163
為替換算調整勘定	37,684	83,814
退職給付に係る調整累計額	448,591	368,541
その他の包括利益累計額合計	2,057,182	2,937,740
純資産合計	24,969,116	27,576,732
負債純資産合計	46,824,181	49,474,926

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	61,348,022	61,909,758
売上原価	38,659,863	39,468,911
売上総利益	22,688,158	22,440,846
販売費及び一般管理費	19,686,967	20,630,066
営業利益	3,001,191	1,810,780
営業外収益		
受取利息	44	25
受取配当金	121,482	137,392
持分法による投資利益	26,146	-
仕入割引	28,902	27,424
賃貸料収入	57,746	58,917
その他	32,436	36,132
営業外収益合計	266,759	259,892
営業外費用		
支払利息	14,440	9,372
賃貸収入原価	29,259	27,047
持分法による投資損失	-	4,700
支払手数料	17,961	-
その他	17,804	13,826
営業外費用合計	79,467	54,947
経常利益	3,188,483	2,015,725
特別利益		
固定資産売却益	2,179	37
特別利益合計	2,179	37
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	570
固定資産除却損	9,250	1,882
災害による損失	2,142	-
品質関連損失	178,081	-
特別損失合計	189,475	2,452
税金等調整前四半期純利益	3,001,188	2,013,309
法人税等	907,638	82,019
四半期純利益	2,093,549	2,095,328
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,093,549	2,095,328

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,093,549	2,095,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	592,831	921,254
繰延ヘッジ損益	424,859	74,615
退職給付に係る調整額	65,843	70,660
持分法適用会社に対する持分相当額	212,711	36,741
その他の包括利益合計	870,822	880,558
四半期包括利益	2,964,372	2,975,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,964,372	2,975,887
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

前連結会計年度まで連結子会社であった株式会社マルアイは、平成29年4月1日付ではごろもフーズ株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅しているため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外していません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当第3四半期連結会計期間において、新清水プラントの建設にともなう本社建物の一部取り壊しを決定しました。これにともない、当該資産の耐用年数を取り壊し予定月までの期間に見直し、将来にわたり変更していません。

この結果、従来の方と比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が30,067千円増加し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が同額減少しています。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結損益計算書関係)

品質関連損失

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

製品に異物が混入していた問題を受け、広告宣伝や販売促進活動の一部を取り止めたことによる損失等を計上しています。

なお、当該金額は、現時点で合理的に見積可能な損失額を含んでいます。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
減価償却費	615,304千円	672,544千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(1)平成28年6月29日の第87期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	235,329千円
(ロ) 1株当たり配当額	12円50銭
(うち創業85周年記念配当5円を含む)	

(ハ) 基準日	平成28年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成28年6月30日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2)平成28年11月11日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,183千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成28年9月30日
(ニ) 効力発生日	平成28年12月5日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(1)平成29年6月29日の第88期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	197,642千円
(ロ) 1株当たり配当額	10円50銭
(うち株式会社マルアイ合併記念配当3円を含む)	

(ハ) 基準日	平成29年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成29年6月30日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2)平成29年11月13日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	169,399千円
(ロ) 1株当たり配当額	9円00銭
(ハ) 基準日	平成29年9月30日
(ニ) 効力発生日	平成29年12月8日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)および当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	111円21銭	111円32銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	2,093,549	2,095,328
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	2,093,549	2,095,328
普通株式の期中平均株式数(株)	18,825,095	18,822,610

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【その他】

平成29年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しています。

(イ) 中間配当による配当金の総額 169,399千円

(ロ) 1株当たりの金額 9円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日および支払開始日 平成29年12月8日

(注) 平成29年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いをしています。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年2月9日

はごろもフーズ株式会社

取締役会 御中

監査法人双研社

代表社員 公認会計士 渡辺 篤
業務執行社員

代表社員 公認会計士 貴志 豊
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているはごろもフーズ株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成29年10月1日から平成29年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、はごろもフーズ株式会社及び連結子会社の平成29年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。